

事業評価書

補 助 事 業 名	三沢飛行場等関連特定事業（教育、スポーツ及び文化に関する事業：三沢市中学校教育支援員配置事業）				
補 助 事 業 者 名	三沢市長 小檜山 吉紀				
実 施 場 所	三沢市松園町 2 丁目 1 番 3 4 号 外				
補 助 事 業 の 成 果 の 目 標	近年、特別支援学級の生徒のほか、通常の学級に在籍する、LD（学習障害）、ADHD（注意欠如・多動症）、高機能自閉症など、学校生活において特別な支援が必要な生徒が増加している。 また、当市には米軍三沢基地が所在しており、外国籍の生徒又は国際結婚により出生した生徒が、日本語による授業の理解が十分でないなど、学校生活において通訳を必要とする生徒も多い。 以上のことから、支援職員の人件費に特定防衛施設周辺整備調整交付金を充当することにより、恒常的に学校生活における支援を行い、より良い教育環境の充実を図る。				
補 助 事 業 の 内 容	三沢市中学校教育支援員配置				
補 助 事 業 の 始 期 及 び 終 期	令和 5 年度				
事業費及び交付金額		令和 5 年度			計
	事業費	円 9,970,970			円 9,970,970
	交付金額	8,000,000			8,000,000
補 助 事 業 の 成 果 及 び 評 価 並 び に 地 域 住 民 へ の 周 知 の 実 施 状 況	【成果】学校教育支援員 15 名を確保できたことで、学校現場における基盤の強化に繋がった。また、「保護者アンケートにみる満足度」の集計結果では令和 5 年度は 84.9%であり、保護者の満足度が高いことが分かった。 【評価】対象生徒に対し、授業中の細やかな配慮や休み時間の安全のための見守りなど、教師と連携して支援をすることで、基盤の強い学校現場を構築することができた。そのことにより、安全の確保、あるいは学習成績の向上も見られるなど、支援員の配置による評価は高い。また、支援員と校長又は教育委員会との人事評価面談においても、支援員が掲げる目標が十分に達成したことが評価として挙げられた。 【周知の実施状況】ウェブサイトや支援員の研修資料などで調整交付金事業である旨を掲載した。				
事業の改善措置及び 今後の対応	今後も学校現場の学習環境を維持し、適正な支援員配置を実施する。				
事業の評価に際しての第 三者機関の活用の有無	無				